



# 苦小牧市立緑陵中学校 学校便り

令和6年2月26日  
第12号  
のぞみ町3丁目10-1  
TEL 61-2727

【学校教育目標】 学ぶ力を育む生徒・豊かな心を育む生徒・健康な身体を育む生徒

## 学校評価アンケートの結果について

過日、ご多用の折にもかかわらず、多くの皆さま方にご協力をいただきました学校評価（生徒アンケート・保護者アンケート）の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

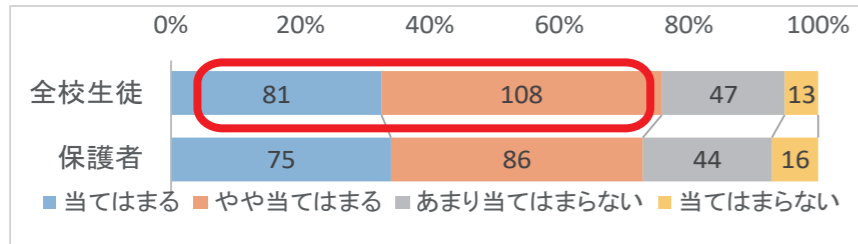
アンケート結果につきましては、全教職員で協議し、本校の教育活動の更なる充実への貴重な資料として活用させていただきます。

今後とも変わらぬご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

### 1 学習指導に関すること

#### (1) 授業改善

##### ①主体的な学び【アンケート項目「自分で考え、進んで取り組んでいる」】

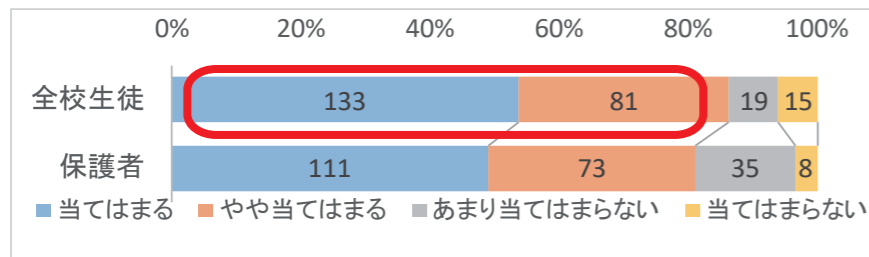


#### 【分析と考察】

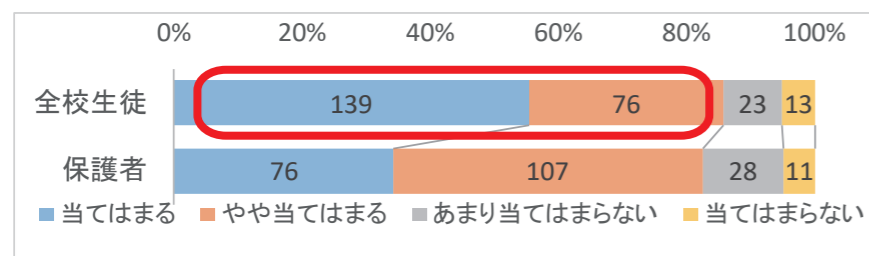
生徒が進んで学習に向かい、話し合い活動などを通して、学習内容を身に付ける授業を目指しているが、①主体的な学び「進んで学習に取り組んでいる」や、②対話的な学び「積極的に参加している」③深い学び「授業の内容がよくわかる」の項目において「当てはまる」「やや当てはまる」の回答がいずれも80%程度となっている。

生徒の学ぼうとする意欲を高めるために、授業の導入や考えてみたい、調べてみたいと思わせるような学習課題や内容の工夫にさらに努めていく。

##### ②対話的な学び【アンケート項目「話し合い活動に積極的に参加している」】



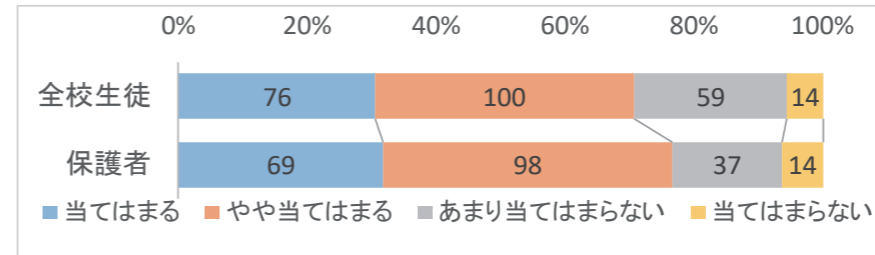
##### ③深い学び【アンケート項目「授業の内容がよく分かる」】



3年理科 話し合い活動を通し、自分の考えを深める

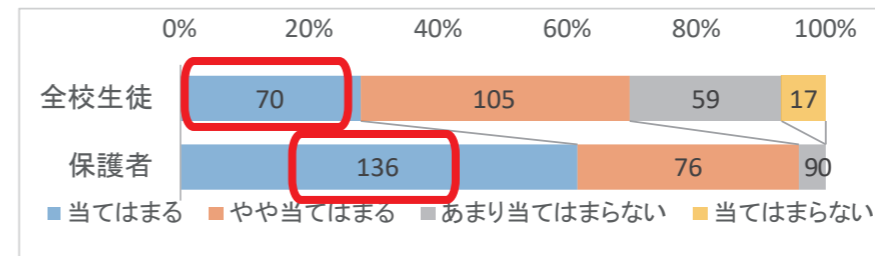
#### (2) 道徳教育

##### ①豊かな心【アンケート項目「多面的・多角的に考え、自分を見つめている」】



参観日 全学年道徳の授業

##### ②自己肯定感【アンケート項目「自分には良いところがある」】



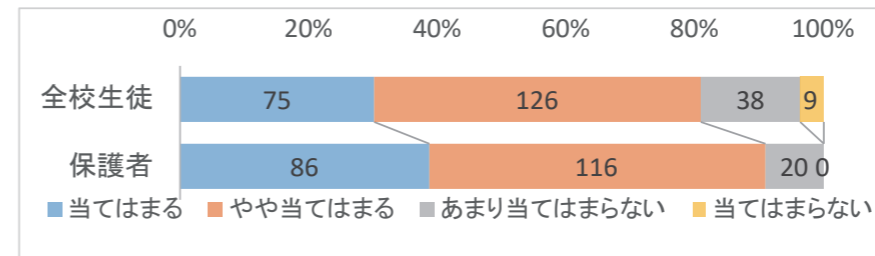
#### 【分析と考察】

(2) 道徳教育②自己肯定感の項目において、「自分には良いところがある」と回答している生徒の割合が30%程度となっているのに対し、保護者の回答では60%程度となっており、認識の差が見られる結果となった。学校と家庭において、生徒の良いところを積極的に認め、自己肯定感を高めていける取組を目指す。

(3) ICT活用の項目では「学習に活用している」と肯定的に考える生徒が85%程度であった。今後もより有効的にICTを活用した授業の研修に努めていく。

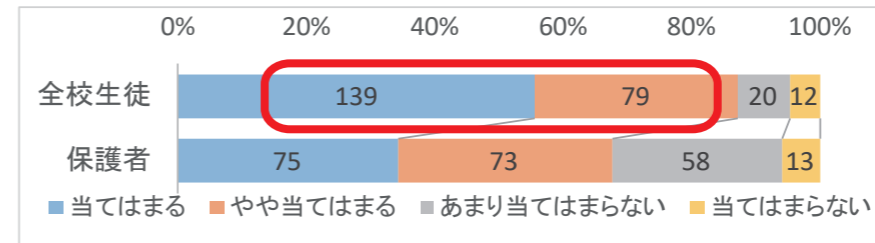
また、(4) 体力の向上の項目「体力の向上に努めている」では生徒と保護者の認識の差が顕著であった。学校と家庭の連携を深め、取り組んでいく。

##### ③思いやり【アンケート項目「他人を思いやる気持ちで接している」】



#### (3) ICTを活用した教育教育

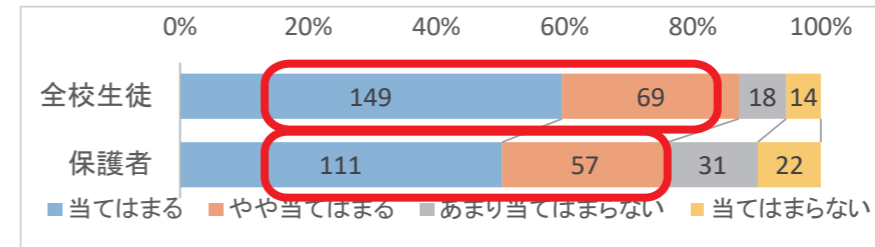
##### ICT活用【アンケート項目「学習にICTを活用している」】



校内研究大会 理科の授業 一人一台タブレットを用いて

#### (4) 体力向上

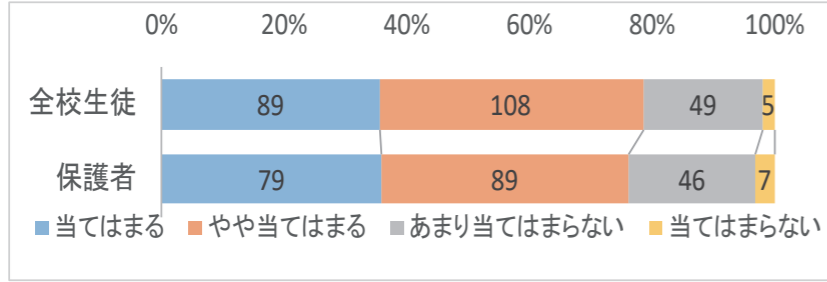
##### 健康体力【アンケート項目「体力の向上に努めている」】



体力向上を目指し、定期的開催 RTC(緑陵トレーニングコーナー)

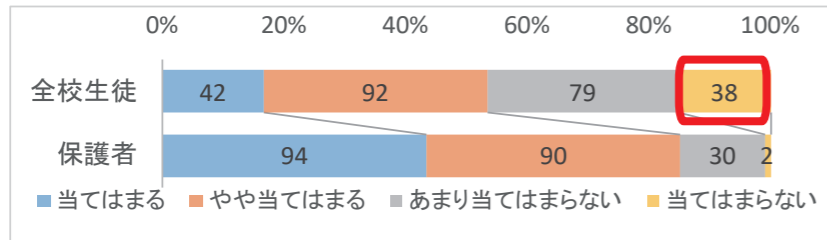
## 2 学校生活・行事に関すること

### (1) 学校生活【アンケート項目「学校は楽しい」】



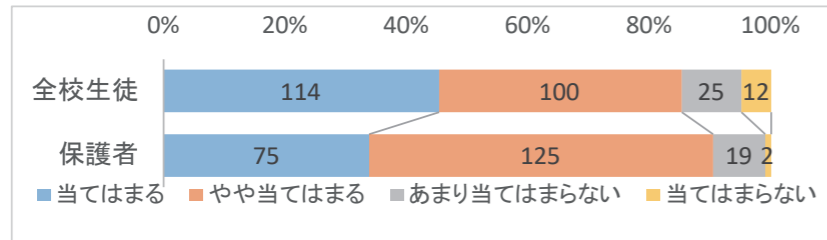
2年生宿泊研修  
小樽での自主研修体験活動

### (2) 行事【アンケート項目「学校行事、生徒会行事、総合的な学習の時間が楽しい」】



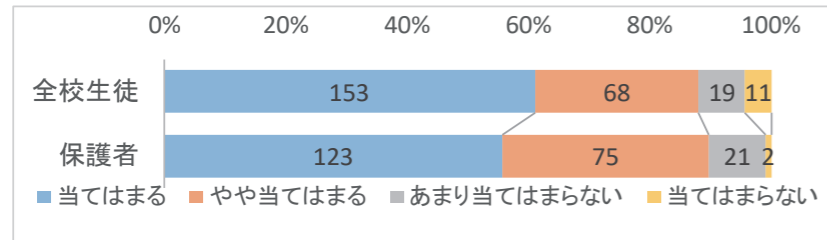
みどりの実収穫祭  
合唱コンクール

### (3) あいさつ【アンケート項目「正しいあいさつや言葉遣いをしている」】



【分析と考察】  
行事の項目において、「楽しくない(=当てはまらない)」と回答した生徒の割合が15%程度となっている。  
生徒一人一人が主役になれるような行事運営や「総合的な学習の時間」となるよう、改善に努めていく。

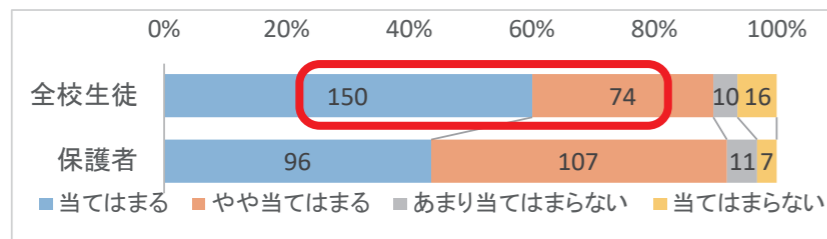
### (4) 協働【アンケート項目「係活動など協力して取り組んでいる」】



家庭科 調理実習

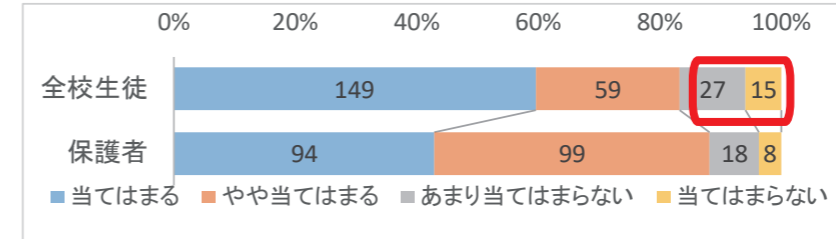
## 3 生徒指導に関すること

### (1) いじめの問題【アンケート項目「いじめをしない、見て見ぬ振りをしていない」】



【分析と考察】  
いじめの問題の項目において、「いじめをしない、見て見ぬ振りをしていない」と回答した生徒の割合が90%程度となっている。今後もいじめについて真剣に考える場を設け、「いじめは絶対に許さない」という雰囲気を学校全体でつくっていく。

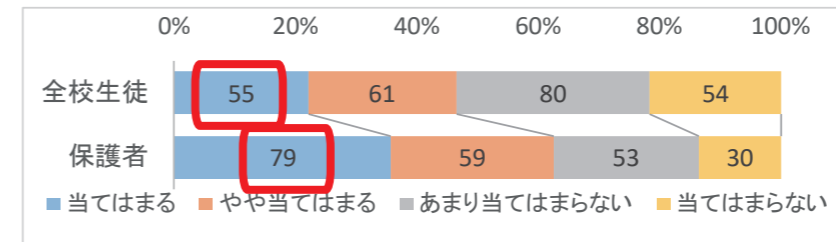
### (2) 教育相談【アンケート項目「先生たちは、いつでも相談にのってくれる」】



【分析と考察】  
教育相談の項目において、17%程度の生徒が「先生たちは相談にのってくれないと思う(=あまり当てはまらない)」と感じている。日常的な生徒と教師の対話を通して、さらに相談しやすい雰囲気の醸成をしていく。

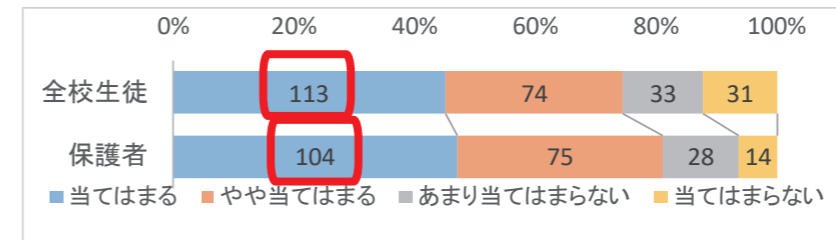
## 4 家庭教育に関すること

### (1) 家庭学習【アンケート項目「家で家庭学習をしている」】



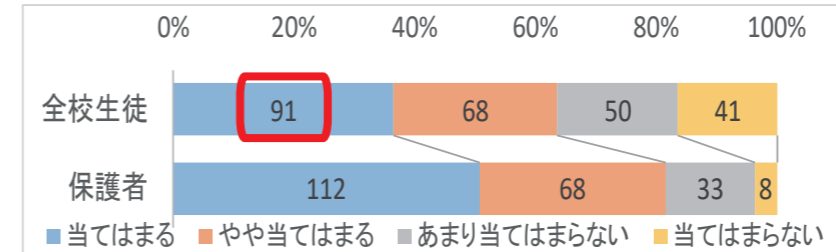
【分析と考察】  
家庭学習の項目において、「家庭学習をしている」と明確に回答した生徒は22%、保護者は35%程度であり、認識の差が見られた。家庭学習の習慣と質の向上に向けて、学習に向かう姿勢を身に付ける取組をさらに進めていく。また、家庭との連携を深め、協力をお願いしていく。

### (2) 親子の会話【アンケート項目「家で学校の出来事について話している」】



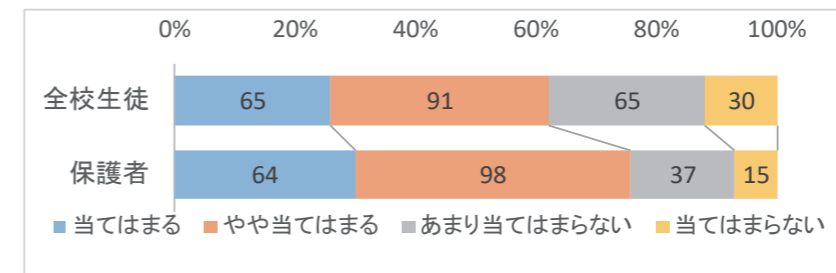
【分析と考察】  
「将来の夢がある」と明確に回答した生徒の割合は、36%程度であった。また、「家庭で学校の出来事について話している」という割合は、生徒45%、保護者47%程度となった。スマートフォン等の所有率が上がっている現在、意図的に家庭での会話を増やし、将来について語り合う機会を設ける必要がある。  
学校においても、職業体験、宿泊研修や修学旅行、総合的な学習等を充実させ、将来について考える機会を設けていく。

### (3) 将来の夢【アンケート項目「将来の夢や目標がある」】



## 5 地域連携に関すること

### (1) 地域連携【アンケート項目「地域の人と関わりをもっている」】



ボランティア部 全市一斉「ゼロごみの日」清掃活動の参加

保護者アンケート回収率79% ご協力ありがとうございました。